

I 研究主題と副題

進んで学びに向かう児童の育成 ～算数科における児童の考える力・説明する力を高めるための授業実践～

II 研究で目指す児童像

- 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けた児童
- 課題に対する解決方法を自ら考えようとする児童
- 自分の考えや意見をもち、説明できる児童

III 主題設定の理由

1 現代社会の動向

昨年度から都城市で始まった GIGA スクール構想により、児童 1 人 1 台のタブレット端末を使っての学習がスタートした。新しい時代に必要となる資質・能力の中に、情報活用能力も位置付けられ、基礎的な知識及び技能を習得したり、課題解決のための情報を収集したり、表現のためのツールとしたりして、ICT を活用する能力も求められている。

「都城学校教育ビジョン」における小中一貫学力向上指定研究事業では、「中学校区の小・中学校の全教職員が、学力の実態を分析し、中学校 3 年時に生徒が巣立つ時の姿を共有した上で、義務教育 9 ヶ年を見通した主体的な授業改善及び学力向上研究を推進する」というねらいのもと、「すぐれた知性」を育成するための重点的な取組について示されている。

2 学校・児童の実態及び研究の経過

本校（全校児童 33 名）は、自然環境に恵まれ、伝統芸能である文弥節人形浄瑠璃に培われる風土と、教育活動に理解を示し協力してくれる地域性があり、豊かな人間性を育む土壌が備わっている。このような環境で育った本校の児童は、明るく素直でのびのびしており、真剣に学習に取り組むこともできる。

これまでに本校は「豊かな心と確かな学力、たくましい体をもち、郷土を愛するとともに、人のために社会のために貢献できる人間を育てる」という教育目標のもと、算数科を中心とした授業において、児童一人一人の実態分析を行いながら、児童の基礎的・基本的な学力を高めるための授業改善および、指導方法の工夫について研究してきた。

また、全員授業研究会を行い、お互いに授業を見合うことで自分の普段の授業を振り返り、よりよい手立てを話し合うことで、授業力の向上につなげることができた。

児童の実態として、学力に関する個人差が大きく、表現力にも個人差が見られる。昨年度より、児童が自ら学ぼうとする姿勢を身につけさせるために、児童の算数科における表現力の育成を目指した授業実践を行ってきた。また、ICT を活用する時のルールや活用方法などの指導を行い、タブレット端末の使い方にも慣れてきている。

3 本年度の方向性

昨年度より、読み取ったことを記述、口述することにより、課題を解決するために思考し、表現する力を高めることを目指して研究を進めてきた。児童は、少しずつ表現することに慣れ、自ら学ぼうとする姿勢が身につけてきたが、まだ十分とは言い難い。本年度は、意見や

考えをもち、説明することができるよう、引き続き研究を深めたい。また、授業における ICT の活用方法の研修も合わせて進めていきたい。

以上のことから、研究主題を「**進んで学びに向かう児童の育成**」、副題を「**算数科における児童の考える力・説明する力を高めるための授業実践～**」とし、研究を進めることにした。

IV 研究の目標

- 児童が自分の考えをもち、説明することができるような指導方法や手立ての工夫について、理論的・実践的に究明する。

V 研究の仮説

- 算数科を中心とした授業において、問題を正しく解くために自分の考えをもち、説明する場を設定し、表現力を高める手立てを取れば、児童に確かな学力を身に付けさせることができるであろう。

VI 研究内容

- 1 1 単位時間または 1 単元の学習の中で、様々な資料を読解し必要な情報を選び取って活用する力を育てるための指導方法の工夫
 - 表現力を育成することを目指す検証授業の実施（1 人 1 回は授業研究会を実施）
 - 抽出児童の変容をもとにした手立ての有効性の検証
- 2 「自分の考えをもち、説明する力」を育成するための手立てと場の工夫
 - 授業の中でいつ
 - 授業の中でどのように
- 3 効果的に「学びの見届け」を行う工夫
 - 児童の実態把握をもとにした効果的な「学びの見届け」の工夫
 - 定着や習熟を図る ICT の活用に関する研究

年間の研修計画

学期	月	日	曜日	形態	主題研	その他	主な研修内容
一学期	4	20	水	主題研	1.0		○ 本年度研究・支援訪問について・ICT活用
	5	11	水	主題研	1.0		○ 研究授業計画・指導案の書き方・ICT活用
		18	水	小中一貫		1.0	小中一貫山之ロブロック研修会
		25	水	主題研	1.0		○ 理論研究・ICT活用
	6	1	水	主題研	1.0		○ 理論研究・ICT活用
		15	水	職員研修	1.0		○ 支援訪問（仮）
		22	水	主題研	1.0		○ 第1回検証授業・事後研究会
		29	水	主題研	1.0		○ 理論研究
夏季休業 7/25 ~8/25				主題研 他	2.0		○ 2学期検証授業指導案作成
					2.0		○ 外部講師による研修会
						1.0	小中一貫山之ロブロック研修会
							道徳・特別活動・総合的な学習の時間 特別支援教育・生徒指導・ICT研修 等
二学期	9	7	水	主題研	1.0		○ 教材研究・ICT活用
		28	水	主題研	1.0		○ 第2回検証授業・事後研究会・次回指導案検討
	10	5	水	主題研	1.0		○ 第3回検証授業・事後研究会・次回指導案検討
		26	水	主題研	1.0		○ 第4回検証授業・事後研究会・次回指導案検討
	11	9	水	小中一貫		1.0	小中一貫山之ロブロック全体研修会 (第3回授業事後研究会)
		16	水	主題研	1.0		○ 第5回検証授業・事後研究会・次回指導案検討
		30	水	市教研		2.0	市合同教育研究会
	12	21	水	職員研修	1.0		教育課程研修①
冬季休業 12/24 ~1/9				主題研 職員研修 他	3.0		○ 研究集録作成
						1.0	○ 教材研究
三学期	1	11	水	職員研修		1.0	教育課程研修②
		18	水	小中一貫		1.0	小中一貫山之ロブロック研修会
		25	水	主題研		1.0	○ 研究集録作成
	2	1	水	職員研修		1.0	教育課程研修③
		15	水	主題研	1.0		○ 研究の振り返り・CRT分析
	3	1	水	主題研	1.0		○ 本年度のまとめ・次年度研究の方向性